

## 本当の生きる力

<今月の聖句> 「光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった」  
(ヨハネによる福音書 1章5節)

つくしの子どもたちと過ごしたクリスマスの日々を思い出しながら  
今年も感謝と共に新しい年を迎えました。

毎年のことですが、慣れ親しんだ礼拝堂はその季節だけ少し暗くなり  
針葉樹で編んだ円形のアドベントクランツに並んだろうそくに  
礼拝の週ごとに一本ずつ、一緒に火を灯していきました。  
暗闇の中に灯がポッと浮かびあがる瞬間、子どもたちから  
歓声とも違う、感嘆の声があふれて出ます。そのようにして礼拝のたび  
一つ、二つ、三つ、四つと数え、4週待って最後、真ん中、五つ目の  
ろうそくに火が灯ると、ついにクリスマス、喜びの訪れです。

たった5個の数字を数えるだけなのに、こんなに長く待つなんて…？  
こんな風に数を数える経験はもしかしたら他ではないかもしれません。  
世の中なんでも早く処理することが良いことのように言われがちですが  
ここではその真逆、ゆっくりゆっくり、一つずつ噛みしめながら進む。  
一つ、二つ…。それぞれの数の背後には、これほどの長い時間が流れ  
これほどの物語が織りなしている。意識はせずとも、子どもたちは  
その重さ大切さを、心で、体で、感じとってくれていることでしょう。  
一つ、二つ…。今も世界で起こる戦争で失われていく子どもの命の数の  
背後にも同じように、かけがえのない時間があり、物語があることにも  
きっと、つくしの子どもたちは思いを馳せることができるでしょう。

ちなみに、円形のクランツに並んだ4本のろうそくを線でつなぐと  
綺麗な正方形ができあがります。次にそれぞれ目の前のろうそく同士を  
線でつなぐと、これまた綺麗な対角線がひけます。  
そして、対角線の交点にはイエスさまのキャンドルが立っています。  
その対角線をよく見ると、どことなく、イエスさまの愛のあかし  
十字架に見えてきませんか？ ここにも数の不思議があるのですね。  
数、そして言葉は、じっくり噛みしめてこそ  
本当の生きる力となります。

(つくし保育園園長 つだかすお)

※毎週日曜日あさ10時30分からの礼拝(醍醐教会)にも  
ぜひお越しください。子どもたち向けのお話もしています。